

今回は、関高生による関市への「まちづくり提言発表会」の報告です。

◇ まちづくりに関する事業提案を、尾関健治関市長に提案しました！

日時： 2022年8月1日 14:00~15:00

場所： 関市役所

参加者： 関市長、関市役所関係部局担当者、関高生、関高校校長・関係職員

企画： 関市企画広報課、関高校研究推進部

次年度はじまる第五次総合計画後期に向けて、高校生からもアイデアを出してほしい…
昨年度、そんなお話を関市企画広報課からいただきました。校内で生徒に呼び掛けたところ、11の事業計画が寄せられ、そのうち5つについて、尾関健治市長の前で発表することになりました。課題発見から事業提案作成、プレゼンテーション準備まで、それぞれの生徒が自身で行いました。提案は以下の通りです。

- ・空き家を活用したまちづくり (2年 大竹諒)
- ・景観と環境に配慮した太陽光発電パネルの設置について (2年 酒向都安)
- ・関市にある伝統文化の魅力を観光事業によって多くの人に実感してもらおう (3年 藤村彩須果、田中莉子)
- ・教育で全体投票率を95%以上に (3年 川嶋康生、粥川涼生)
- ・ふるさと納税とほらどキウイ (3年 澤村和樹)

各個人・チームは、各自でフィールドワークを行い、課題を発見し、SDGs問題につなげ、解決に向けた提案を検討してきました。講評及び座談会の場で、尾関市長から、ひとりずつの提案や質問に対し、丁寧なコメント・回答をいただきました。

関市側や新聞社、テレビ局からの取材に対し、観光について発表した田中莉子さんは「めちゃくちゃ緊張した。でも1年生の時から研究してきたことを発表できてよかった」とコメント。また、ふるさと納税に関する提案を行った澤村和樹さんは「市長さんから率直なコメントがいただけてうれしい。このプロジェクトのメンバーでまた研究していきたい」と意気込みを語ってくれました。児童・生徒による校則見直しを意識変革につなげ、選挙の投票率をあげようとの提案を行った川嶋康生さんは「市長さんが真剣に意見を聞いてくださって、高校生でも積極的に提案していく重要性を感じた」と、今回の試みの意義について話してくれました。



◇ 尾関健治関市長からのコメント

昨年度の関高創立百周年記念式典でも話した通り、自分自身が市長になると決意したのは、関高生の頃だったが、当時、関市について何か調べたり、実際に町の中で活動したりするとか、そんなことは一切なかった。

それと比べると、現在の関高校は、進学校でありながら、探究活動を通じて地域との関りを強く持っていて、ひとりの同窓生として、そんな姿を誇りに感じている。今回の市への具

体的提案もとても意義深い。

高校生からの提案に関しては、市役所担当課で協議・回答し、実施可能なものに関しては総合計画の中に反映させていきたいと考えている。



関市と関高校が連携した地域課題に対する取り組みは、今年度も継続して行います。